

第3回定例議会……過疎地域計画の充実を！

9月定例議会最終日は、一般会計補正予算、「過疎地域自立促進計画の制定」についての質問が多く出されました。

Q 岩代一宏議員 計画の中に地域特産品作りや有機農産物のブランド化、地産地消の推進と新たな流通販売形態の推進が掲げられているが、村としての取組は？

A 村長 先ずは、体制をしつかり整えて、目に見える形で頑張っていくことが大事。いろんな販売、また付加価値をつけて六次産業化へ向け、全力を挙げて取り組みたい！

Q 北野悦之議員 光通信などを整備する項目があるが、内容が少し弱いのではないかと。南阿蘇村にいろんな人が関心を持っている中、プラス情報網の整備が村のためでは？

A 長陽総合調整課長 企業を誘致するとか、観光地を整備するためには標記の件について、光ファイバー通信体制が必要。費用対効果を考えながら早期実施に努力している現状である！

Q 小堀孝二議員 道路網の整備について、白川を渡る竹田橋の整備は事業計画の中に含まれていない。架替ならば莫大な費用がいるが、人が通れるくらいの補修はできないか？

A 村長 相当な額になるので、なかなか財源の確保が難しい。県あたりとも協議中であるが、造る方向で取り組んでいきます！

Q 飛瀬 稔議員 企画観光課の雑入300万円の内容説明を？ また、工事請負費650万円の関連は？

A 企画観光課長 一心行公園の植栽等の破損を修復するため、施工業者および管理者から応分の負担金各150万円ずつ、計300万円を計上している。植栽工事は、その残額350万円を村が負担して行う。



一心行公園の植栽破損状況

議員の質問に執行部より回答

